

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録や細菌学的な検体を新たに解析することによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の[問い合わせ先]へご連絡ください。また、ご自身のデータを研究に利用することを承認されない方は以下の[問い合わせ先]にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

#### [研究課題名]

成人侵襲性 B 群溶血性レンサ球菌感染症の検討：侵襲性 G 群溶血性レンサ球菌感染症との対比

#### [研究機関]

東京都済生会中央病院、北里大学 北里生命科学研究所

#### [研究の目的]

- ・ 成人侵襲性B群溶血性レンサ球菌感染症と侵襲性G群溶血性レンサ球菌感染症との比較により両病態における類似性や差異を明確にする
- ・ 両疾患群より得られた菌株が有する病原性因子・疫学特性・薬剤耐性機構の特徴を明確にする

#### [研究の方法]

<対象となる患者さん>

当院において2016年1月1日から2018年12月31日までの間に侵襲性B群溶血性レンサ球菌感染症あるいは侵襲性G群溶血性レンサ球菌感染症の診断・治療で入院・通院されたことがある方。

<利用する情報>

- ① 患者さんに関する情報：カルテに記載された年齢、基礎疾患、合併症、治療法、転帰など。
- ② 分離菌に関する情報：病気の診断時に既に患者さんより分離されているB群溶血性レンサ球菌とG群溶血性レンサ球菌の菌株情報。この情報には患者さんの情報は含まれておりません。

#### [個人情報の取り扱い]

患者個人が特定されないように、患者情報を匿名加工情報（当該個人情報に含まれる記述等の一部を削除すること・当該個人情報に含まれる個人識別符号の全部を削除すること）とします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

#### [問い合わせ先]

東京都港区三田 1-4-17

東京都済生会中央病院 総合診療・感染症内科

担当 谷山 大輔

電話 03-3451-8211